

めぐみイエス・キリスト教会

2018年8月26日(日) 第四主日礼拝
週報「通算第420号」



2018年標題聖句

使徒の働き27章22節～26節

《「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、命を失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。』》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～10時45分
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～7時
聖書研究・祈祷会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年8月26日(第四主日礼拝)

第一礼拝 午前10時～11時

(一) 司会 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

第二礼拝 午後6時～6時45分

(二) 司会 鈴木竜実牧師 奏楽 鈴木竜実牧師

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌20「主の^{まこと}真実はくしきかな」p. 26

【交読文】 No.11 詩篇第32篇 p. 887

【賛美Ⅱ】 新聖歌332「主は真のぶどうの木」 p. 528

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.14 「み言葉に帰ろう」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書15章12節～15節(新約p. 193)

【祈 禱】

【説 教】 《主イエス様の戒め》

【聖餐式】 (第一礼拝のみ)

【賛美Ⅳ】 新聖歌291「神の国と神の義」 p. 465

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

●ポイント1 「新しい戒め」とは？

※ヨハネの福音書13章34節～35節「互いに愛し合いなさい」 (新約p.190)

13:34 「あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。私があなたがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

13:35 もしあなたがたの互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたが私の弟子であることを、すべての人が認めるのです。」

●ポイント2 「これよりも大きな愛は誰も持っていません」とは？

※ローマ人への手紙5章6節～8節「死んで下さったことにより」 (新約p.271)

5:6 私たちがまだ弱かったとき、キリストは定められた時に、不敬虔な者のために死んでくださいました。

5:7 正しい人のためにでも死ぬ人はほとんどありません。情け深い人のためには、進んで死ぬ人があるいはいるでしょう。

5:8 しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んで下さったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

※ヨハネの福音書10章17節～18節「いのちを捨てるからこそ」 (新約p.181)

10:17 「私が自分のいのちを再び得るために自分のいのちを捨てるからこそ、父は私を愛してくださいます。

10:18 だれも、私からいのちを取った者はいません。私が自分からいのちを捨てるのです。私には、それを捨てる権威があり、それをもう一度得る権威があります。私はこの命令を私の父から受けたのです。」

●ポイント3 「主イエス様の新しい戒め」を具体的に実行するには？

※第 I ヨハネ3章16節～24節「使徒ヨハネの勧めから」(新約p.429下段右側)

※ルカの福音書6章38節「神の国とイエス様の法則」 (新約p.110)

6:38 「与えなさい。そうすれば、自分も与えられます。人々は量りをよくして、押しつけ、揺すり入れ、あふれるまでにして、ふところに入れてくれるでしょう。あなたがたは、人を量る量りで、自分も量り返してもらうからです。」

◎先週のメッセージの概要【喜びに満たされる人生とは？】

《主イエス様は言われました。「父が私を愛されたように」

天のお父様は、御子イエス様を愛しておられました。三位一体の神様は互いに愛し合っておられることを、私たちは新約聖書を通して知っています。

イエス様がバプテスマのヨハネから洗礼を授かった時に、天から声がしました。「あなたは、私の愛する子、私はあなたを喜ぶ。」

父からの溢れんばかりの愛を受けられたからこそ、イエス様は父に従われたのです。そしてイエス様は言われました。「私もあなたがたを愛しました」と。最後の晩餐の食事の途中に、イエス様は弟子たちの足を洗われたのです。

父なる神様とイエス様は、互いに愛し合う関係であって、それと同じようにイエス様と弟子たちも、互いに愛し合う関係であったわけです。

それは人格と人格との深い交わりのことであり、特にイエス様は、いつも父なる神様により頼み、その思いと御心に従っておられました。

死んだラザロをよみがえらせた時に、イエス様は、「あなたがいつも私の願いを聞いて下さることを知っておりました。」と告白されました。「私は神様に愛されている」、これこそが、喜びに満たされた人生を歩む秘訣なのです。

イエス様を愛している者は、イエス様の言われた言葉を敬い、そして従うのです。なぜなら愛され、愛しているからです。そのような愛の関係を続けることこそが、喜びに満たされた人生を、神様と共に歩むことになって行くのです。

そしてそのような人は、さらに喜びが満ち溢れて行きます。イエス様は、私たち一人一人が、「喜びに満ちた人生」を歩むことを願っておられます。

私やあなたが「喜びに満ちて」いたとしたら、イエス様も喜ばれるのです。

そして喜びに満ちた人の顔は、さらに輝きを増し、満ち溢れた喜びが、周りの人々に伝わって行きます。その人は、父なる神の栄光を現わすのです。

ではどのようにしたら喜びに満ちた人生を送れるのでしょうか。それは、何時もいかなる時にも、イエス様との深い交わりを、続けることなのです。》

◎お知らせ

1. 次回の主日礼拝は、9月2日(日)午前10時と午後6時からです。なお9月9日(日)第二主日礼拝は、午前の第一礼拝だけになります。また9月30日(日)は、午後の第二礼拝のみとなります。次回祈祷会は、8月29日(水)午後6時15分です。また9月5日(水)の祈祷会は、都合によりお休みとさせていただきます。